平成３０年３月２８日（水）
国土交通省関東地方整備局
東京都建設局
東日本高速道路（株）関東支社
中日本高速道路（株）東京支社

記者発表資料

東京外かく環状道路（関越～東名）事業連絡調整会議（第6回）開催結果について

本日開催した、東京外かく環状道路（関越～東名）事業連絡調整会議（第6回）の概要をお知らせします。
会議の概要は以下のとおりです。

＜開催日時・場所＞
平成30年3月28日　17時00分～18時00分
九段第3 合同庁舎11階 共用会議室4

＜構成機関＞
国土交通省関東地方整備局
東京都
東日本高速道路（株）関東支社
中日本高速道路（株）東京支社

＜議事について＞
議事の概要は別紙のとおり

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省関東地方整備局道路部 道路計画第一課長　　松實　崇博（まつみ　たかひろ） ＴＥＬ　０４８－６０１－３１５１ 東京都建設局三環状道路整備推進部 整備推進課長　　小野寺　圭（おのでら　けい） ＴＥＬ　０３－５３２０－５１７１

【別紙】

東京外かく環状道路（関越～東名）
事業連絡調整会議（第6回）結果の概要（速報）

平成３０年３月２８日（水）
国土交通省関東地方整備局
東京都建設局
東日本高速道路（株）関東支社
中日本高速道路（株）東京支社

国土交通省関東地方整備局、東京都、東日本高速道路(株)関東支社及び中日本高速道路(株)東京支社の4者は、今回の事業連絡調整会議において下記の事項を確認した。

１．用地について

・H28.12～H30.2の15ヶ月間で、全体の用地進捗率は約9割（残件数−170件）となり着実な進捗がみられるが、未だ用地全体で486件の残件があること。

・区分地上権取得部の用地進捗率は75%、366件の残件があり、厳しい状況であること。

・青梅街道IC周辺の用地取得については、今年度から都が受託して平成29年7月に説明会を開催し、現在、測量や用地交渉を進めていること。

２．埋蔵文化財調査について

・H28.12～H30.2の15ヶ月間で、全体の調査進捗率は87%（＋18ポイント）となった。

３．工事について

・東名JCTにおいては、平成29年2月にシールドマシンが発進し、初期掘進を進めているところ。今後、事業地外へ掘進予定であり、トンネル工事が本格化するにあたって、安全・安心確保の取り組みを進めていくこと。

・大泉側の本線シールドトンネルについては、立坑工事が概成し、今後、発進設備とシールドマシン組立てを進めていくこと。

・地中拡幅工事は、大規模かつ複雑な工程やステップを伴う高度な技術を要す工事につき、施工には相当の期間を要す見込みであるが、安全・安心な設計・施工を進めること。

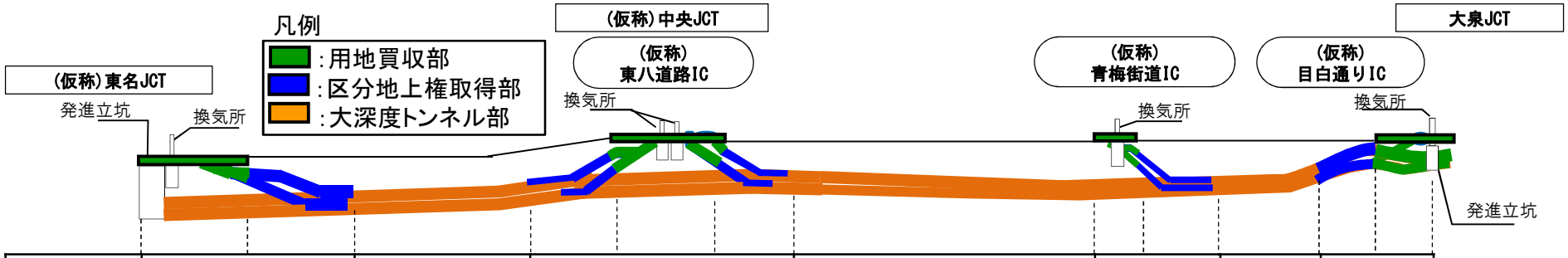
４．工程について

・用地・工事それぞれに課題が多くあり、具体的な開通時期を見通すことは困難としてきたところであるが、中央JCT地中拡幅工事の発注手続きも当初の想定より相当遅れており、少なくとも2020年東京オリンピック・パラリンピックまでの開通は困難である。今後、契約後に実施する詳細設計の中で、工事の精査を進め、国、東京都、NEXCO東日本及びNEXCO中日本は相互協力の下、安全を最優先に工事を進め、早期の開通に向けて取り組むこと。

東京外環　用地取得の状況

H30年2月末

資料1



	東名JCT			中央JCT				青梅街道IC			大泉JCT	
用地取得の態様	買収	区分地上権	―	区分地上権	買収	区分地上権	―	買収	区分地上権	―	区分地上権	買収

面積ベース

	東名JCT		中央JCT		青梅街道IC		大泉JCT	合計
買収	98%(＋2%)	―	96%(±0%)	―	24%(＋3%)	―	99%(±0%)	91%(＋1%)
区分地上権	89%(＋10%)	―	88%(＋34%)	―	3%(＋1%)	―	99%(＋3%)	75%(＋16%)
合計	95%(＋5%)	―	94%(＋8%)	―	14%(＋2%)	―	99%(＋1%)	86%(＋6%)

件数ベース

	東名JCT		中央JCT		青梅街道IC		大泉JCT	合計
買収	95%(＋1%)	―	99%(＋1%)	―	27%(＋3%)	―	97%(＋1%)	90%(＋1%)
区分地上権	76%(＋16%)	―	82%(＋29%)	―	1%(±0%)	―	99%(＋4%)	65%(＋15%)
合計	86%(＋8%)	―	92%(＋13%)	―	10%(＋2%)	―	98%(＋2%)	79%(＋8%)

残件数

	東名JCT		中央JCT		青梅街道IC		大泉JCT	合計
買収	15(-2)	―	3(-4)	―	94(-4)	―	8(-5)	120(-15)
区分地上権	66(-44)	―	62(-103)	―	237(-1)	―	1(-7)	366(-155)
合計	81(-46)	―	65(-107)	―	331(-5)	―	9(-12)	486(-170)

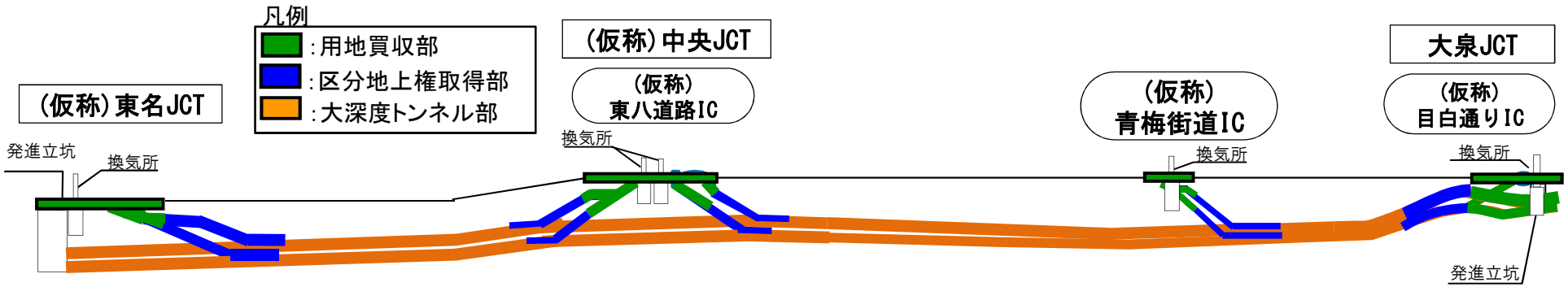
※用地取得は、国、東京都、NEXCO東日本、NEXCO中日本が分担して実施
※用地買収部については平成26年度より土地収用法に基づく収用手続きを活用中
（事業者からの裁決申請・明渡裁決申立後は東京都収用委員会において手続きを実施）

※()内の数値は、H28年11月比

東京外環　埋蔵文化財調査の状況

H30年2月末

資料2



埋蔵文化財調査対象地のうち着工可能な面積の割合

	東名JCT	中央JCT	青梅街道IC	大泉JCT	合計
進捗率	96% (＋8%)	99% (＋27%)	0% (±0%)	99% (＋20%)	87% (＋18%)

※東京都との調整により調査必要範囲を事前に確定
※調査必要範囲について、工事着工前に区市の立ち会いのもと試掘調査(確認調査)を実施し、その結果を踏まえ、必要に応じて東京都にて本掘調査を実施

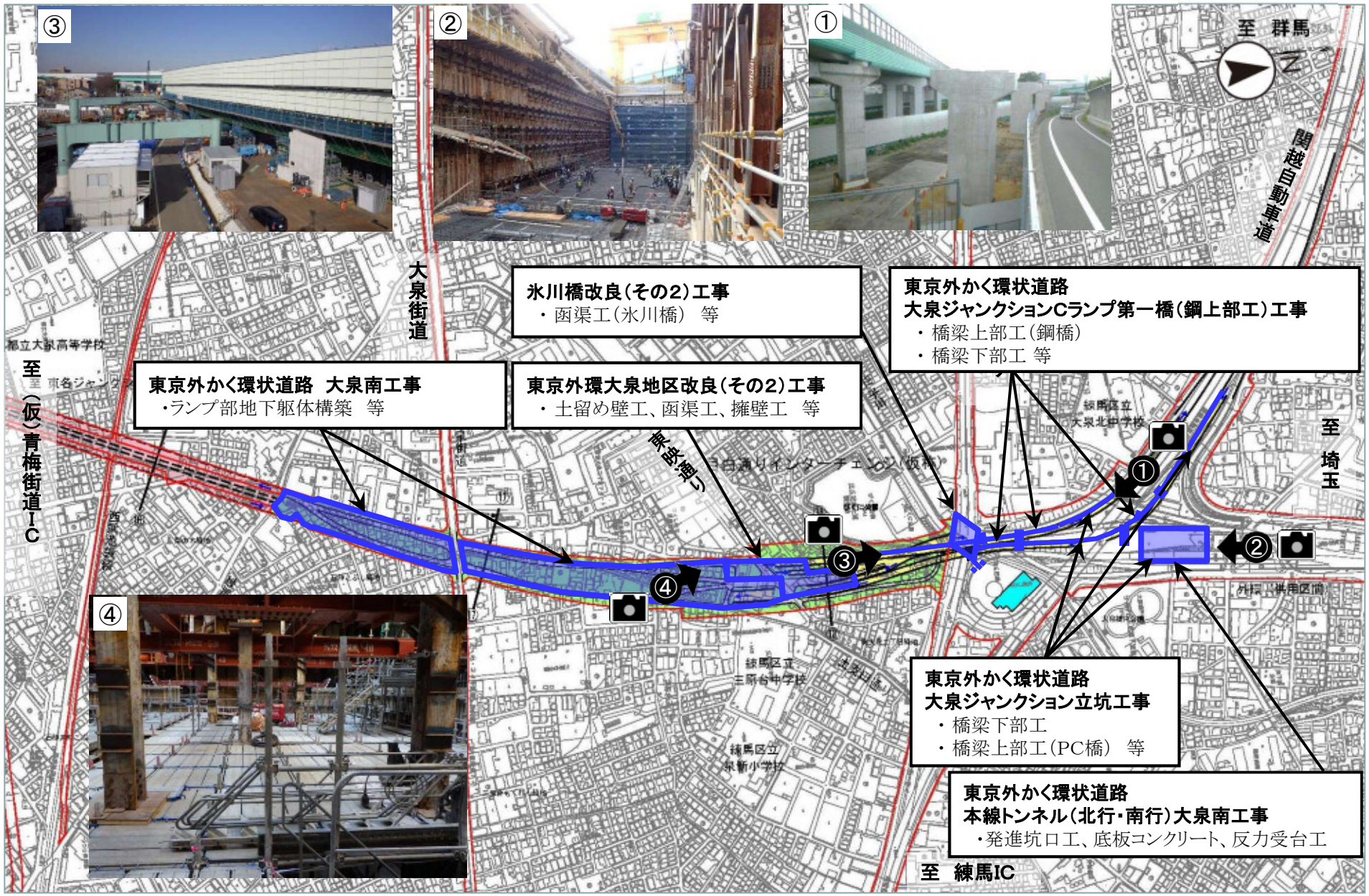
※()内の数値は、H28.11月比

$$※進捗率＝\frac{調査済み面積}{調査対象面積}$$

工事実施状況（大泉JCT）

H30年2月末現在

資料3

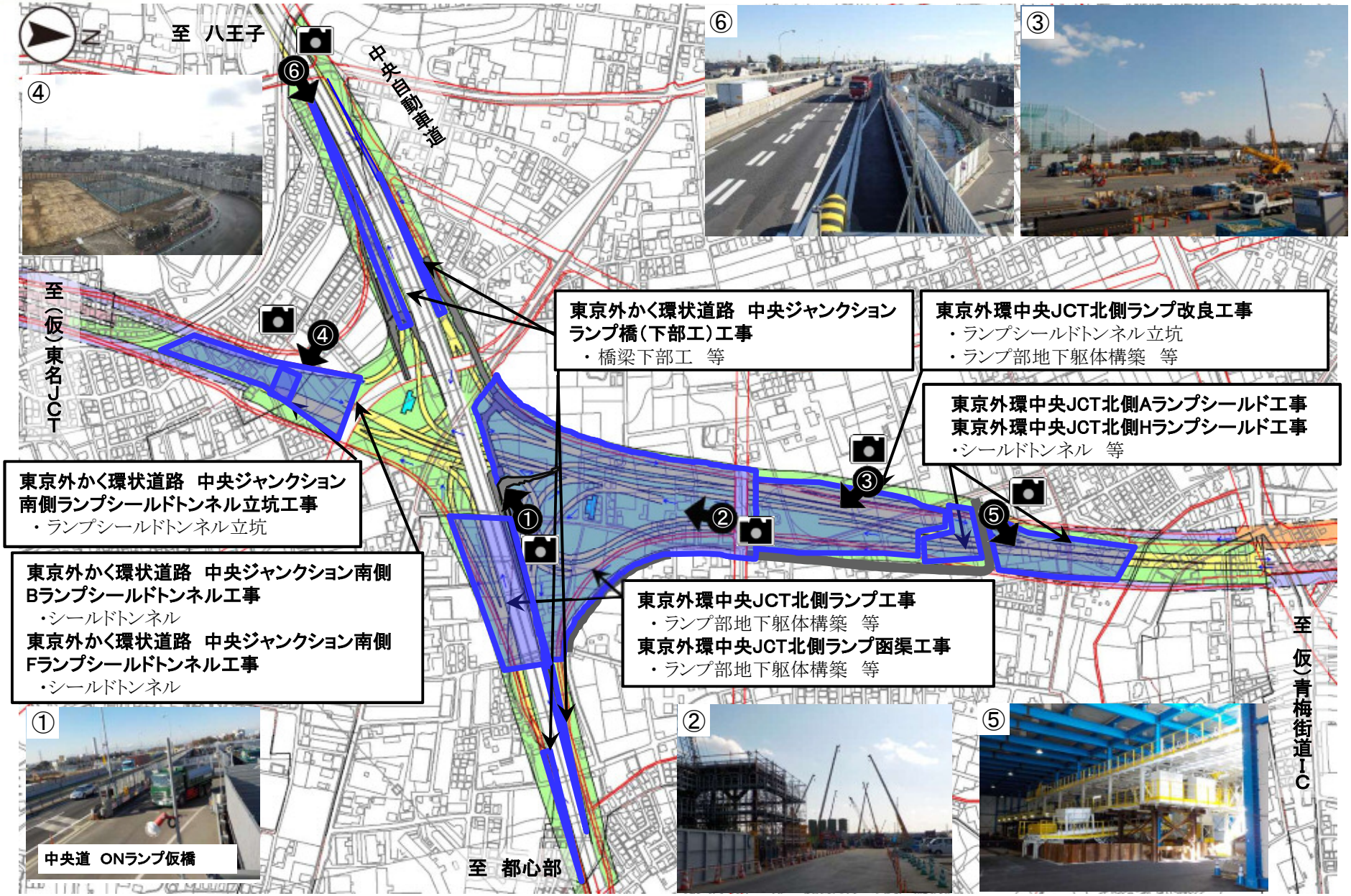


用地取得の形態　用地買収部　区分地上権取得部　大深度地下使用部

工事実施箇所

工事実施状況（中央JCT）

H30年2月末現在

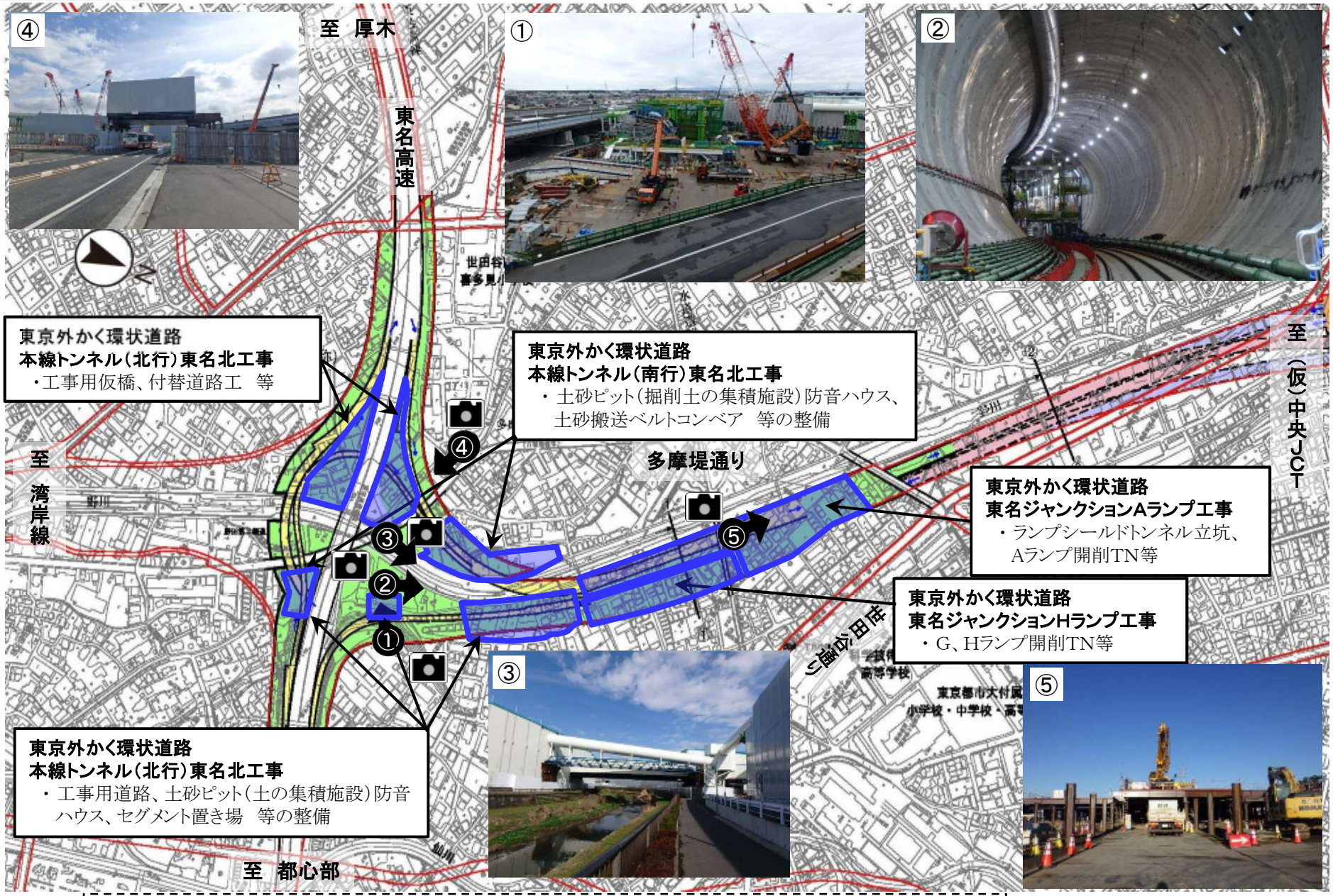


用地取得の形態　用地買収部　区分地上権取得部　大深度地下使用部

工事実施箇所

工事実施状況（東名JCT）

H30年2月末現在



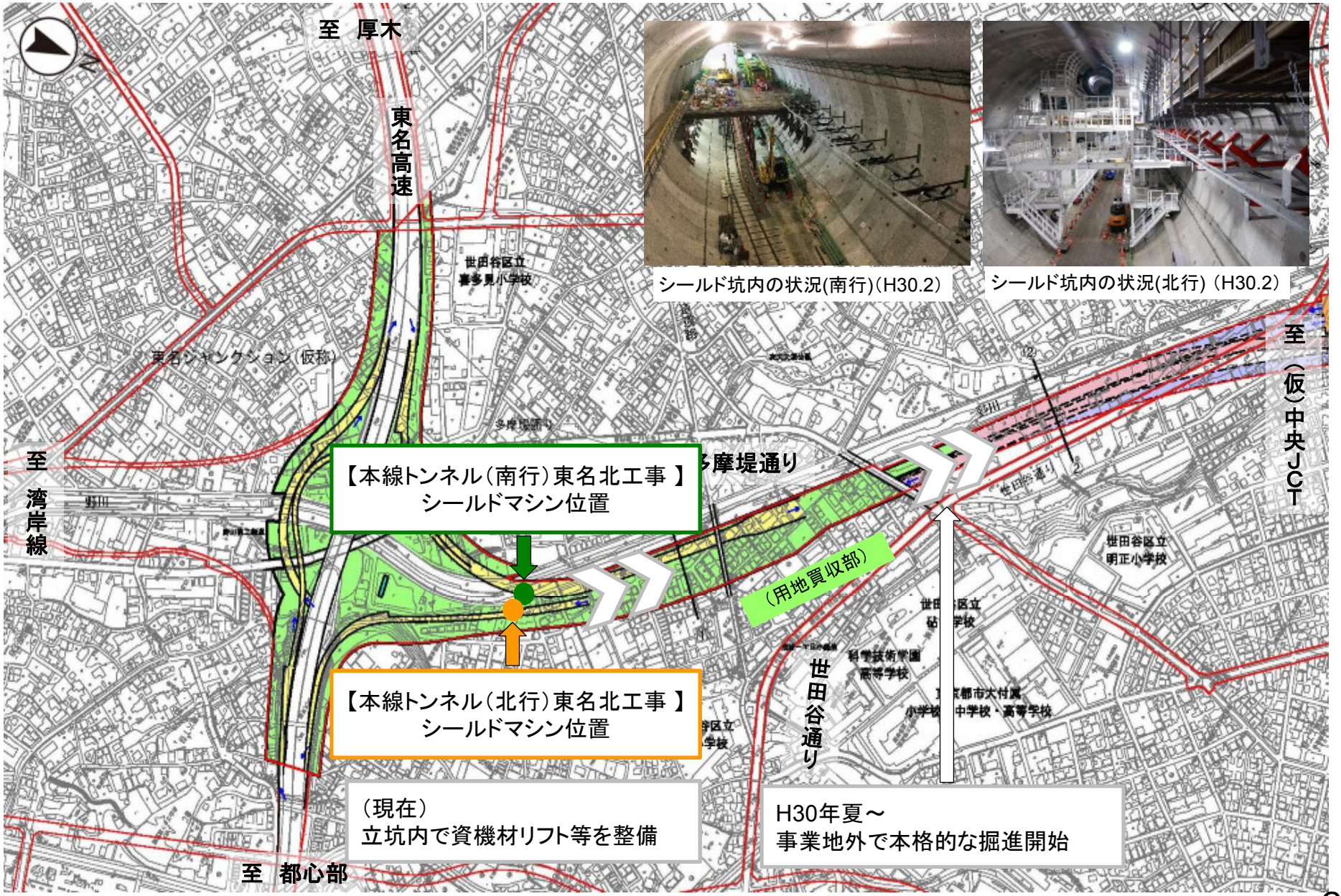
用地取得の形態　用地買収部　区分地上権取得部　大深度地下使用部

工事実施箇所

本線トンネルの工事　実施状況（東名JCT）

H30年2月末現在

資料4



シールド坑内の状況(南行)（H30.2）

シールド坑内の状況(北行)（H30.2）

中央ＪＣＴ地中拡幅工事について

東日本高速道路(株)
中日本高速道路(株)

資料5

〇H28月10月21日　中央JCT地中拡幅工事　工事公告

中央JCT地中拡幅部は、市街化された地下部で、地下水を有する地盤内に非開削で構築するといった技術的困難さを伴い、また、施工者独自の高度で専門的なノウハウ・施工方法を求める事が必要なことから、発注方式として、「技術提案・交渉方式　設計交渉・施工タイプ」を適用し、工事公告

【当初の想定スケジュール】　H28年10月 工事公告 →（約7か月）→ H29年5月頃 詳細設計契約 → 工事契約

〇H29年5月8日　契約手続きの延期について

平成29年4月27日（木）までに通知することとしていた優先交渉権者・交渉権者の選定及び非選定結果の通知を延期

〇H29年9月1日　契約手続きの取りやめ

談合疑義情報の提供等を踏まえ、談合情報等対応マニュアルに基づき技術提案書等のチェックや競争参加者に対する事情聴取等の調査を行った結果、談合等の不正行為の疑義を払拭できず、契約の公正性を確保できないおそれが生じたことから、契約手続きを取り止め

中央南工区

中央北工区